

アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

令和6年度 農業研修

令和6年8月から11月までの農業研修の様子をまとめました！

就農研修(初級)秋コース

農業に興味関心があり、就農を検討している方等を対象とした研修会を全5回にわたり、開催しました。このコースはうね立てからは種・定植作業、収穫作業までの一連の作業が体験でき、これらの実習に加え、各回座学形式の講義も実施しました。

農業の楽しさだけでなく、厳しさ・難しさも伝えましたが、アンケートでは「本やネットの受け取る学びしかしてこなかったのが、実際に体を動かしたり、質問が出来たりする機会はとても貴重でした。」「同じような立場で就農する方がいるので励みになりました。」「次は就農研修(中級)や長期就農研修に挑戦したい」などの声が聞かれました。



は種作業



農作業安全



講話(講師 鈴木光一先生)



ホウレンソウの収穫

農産加工研修

農産加工研修 基礎 秋コース

農産加工初心者の方を対象に、9月から10月に加工の基礎を学ぶ全4回の研修を開催しました。今後農産加工品の製造や販売を考えている方を中心に10名が受講しました。

「営業許可と食品表示」では、HACCPに関する講義や栄養成分表示作成の演習、「殺菌と包装」では、食品の殺菌方法と農産物6次化に関する補助事業について、研修を行いました。「瓶詰め・袋詰め食品」では、アグリカレッジ産のリンゴを用いて、市販の瓶を使って殺菌時間や温度、糖度やpHを測定しながらリンゴジャムの瓶詰め実習を行いました。「事例紹介」では、三春町のアグリ工房ひらく代表の大見啓子氏、福島市の株式会社フルーツのいとう園代表の伊藤隆徳氏を講師に迎え、加工所設立から加工品販売までの経緯を紹介していただきました。加工所運営の講義は、ユイネクスト株式会社代表の田村俊和氏を講師に迎え、加工事業の準備度セルフチェックから会計の基礎について学んでいただきました。



営業許可と食品表示の講義



水分活性測定の様子



リンゴジャム加工



伊藤隆徳氏

応用コース

農産加工販売者の方を対象に、新たな商品作りについて学ぶことを目的に開催し、8名が参加しました。

午前中は福島市と浪江町でエゴマを栽培し、加工から販売まで行う石井絹江氏を講師として迎え、加工品の価格設定や販路の決め方等について学びました。講義の後は受講生全員でえごまソルトとじゅうねんもちの加工を行いました。

午後はハイテクプラザ会津若松技術支援センター職員が講師を務め、殺菌の重要性や加工食品の保存性を高めるポイントについての研修を行いました。具体例としてpHを変えた桃ジュースの殺菌方法の違いについて説明がありました。また、水分活性計や真空包装機を用いた実演も多く、受講生は興味深く聞いており、質疑応答も活発に行われました。



石井絹恵氏による講義



桃ジュースのpH測定の様子

技術コース【長期保存食品】

本コースは農産物加工販売者と販売予定者を対象に、容器包装食品の加工技術の習得を目的に今年度新設されたものです。本カリキュラムは10名が受講しました。

本校職員が講師を務め、レトルト殺菌についての講義の後、班に分かれて実習を行いました。レトルト殺菌機を用いたレトルトカレー作りと、4種類の加熱方法（レトルト・レンジ・蒸し・ゆで）によるにんじんの食味比較を行いました。受講生はレトルト殺菌のしくみや殺菌機について熱心に学んでいました。



レトルト殺菌に関する講義



レトルトカレー加工

農業機械研修



けん引操作（農耕車限定）

けん引（農耕車限定）免許取得に向けた研修（第6回～7回）を開催しました。本校の運転練習コースで、車庫入れ、S字走行、けん引特有の右折・左折の安全確認の方法など、公道を安全に運転するための基本的な操作について、本校職員が指導しました。

なお、免許取得には、福島運転免許センター（福島市庭坂）において、各自で技能試験を受検する必要があります。



車庫入れ

大型特殊操作（農耕車限定）

大型特殊免許（農耕車限定）取得に向けた研修（第1回～4回）を開催しました。本校の運転練習コースで、前進後進、車庫入れ時の安全確認方法など、公道を安全に運転するための技術について本校職員が指導しました。また、講義ではトラクタにおける死亡事故の事例と安全対策等について紹介し、農作業安全に係る注意喚起を行いました。

トラクタに乗車したことがない受講生もいらっしゃいましたが、福島運転免許センターにおける技能試験に合格することを目標に、練習しました。

なお、免許取得には、福島運転免許センター（福島市庭坂）において、各自で技能試験を受検する必要があります。



車庫入れ

トラクタ操作技術向上

ロータリ耕に係る技術向上を目的に、株式会社南東北クボタを講師に迎え開催しました。講義では、「農作業安全」及び「耕うんの基礎」等について学びました。また、セルフメンテナンスのポイント及びトラクタと作業機のマッチングについて学びました。実技では水田ほ場でスマート農業対応トラクタで耕うんを体験し、基本操作を習得しました。



セルフメンテナンスのポイント



耕うんの基礎
(スマート農業対応トラクタ)

